

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質						3.0	
Q1 室内環境						3.4	
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル		—					
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能		—					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		—					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—					
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温		—					
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.57		
3 ゾーン別制御性		—					
2.2 湿度制御		3.0	0.38				
2.3 空調方式		3.0	0.20	3.0	0.20		
3 光・視環境		3.0	0.25	4.1	1.00	3.5	
3.1 昼光利用		2.4	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		病室部分1.25%以上					
2 方位別開口		2.0	0.60	5.0	0.60		
3 昼光利用設備		—					
3.2 グレア対策		3.0	0.40	3.0	0.40		
1 昼光制御		2.0	0.30	4.0	0.30		
3.3 照度		病室部分はカーテンと庇にて制御					
3.4 照明制御		共用部分は自動照明制御、病室部分は各個室リモコンにて制御可能					
4 空気環境		4.0	0.25	4.0	1.00	4.0	
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を全面に採用					
4.2 換気		4.0	1.00	4.0	1.00		
1 換気量		共用部分1.2倍以上、病室部分1.4倍以上					
2 自然換気性能		病室部分1/15以上					
3 取り入れ外気への配慮		—					
4.3 運用管理		5.0	0.20				
1 CO ₂ の監視		—					
2 喫煙の制御		館内規制より建物内全面禁煙					
Q2 サービス性能		—	0.30	—	—	3.0	
1 機能性		2.8	0.40	3.8	1.00	3.3	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		全個室10㎡以上					
2 高度情報通信設備対応		—					
3 バリアフリー計画		3.0	1.00				
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		—					
2 リフレッシュスペース		—					
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		4.5	0.30				
1 維持管理に配慮した設計		内装に維持管理のしやすい建材を採用					
2 維持管理用機能の確保		掃除用流しやコンセントの設置など、清掃環境を整備					
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30			3.2	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		—					
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.80				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20				
1 躯体材料の耐用年数		—					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		窯業系サイディング					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:塩ビシート、壁:ビニルクロス、天井:ビニルクロス					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		—					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水(VLP):B、給湯(VLP):B、排水(VP):B、Eは不使用					
6 主要設備機器の更新必要間隔		—					
2.4 信頼性		3.0	0.20				
1 空調・換気設備		—					
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20				
3 電気設備		—					
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA					
5 通信・情報設備		—					

3 対応性・更新性			2.7	0.30	2.0	1.00	2.3
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30	1.0	0.50	
1	階高のゆとり	—	1.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	共用部分0.1以上0.3未満	4.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		—	3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20			
3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10			
4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10			
5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			—	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出		—	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.0
LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.74	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		—	2.0	0.50	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			—	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	自動水栓、節水型便器を設置	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減	—	-	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	2.0	0.11	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤	—	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	—	3.0	0.50	-	-	
3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			—	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO ₂ 排出率87%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1	大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	—	2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
2	振動	—	-	-	-	-	
3	悪臭	—	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たし、屋外広告物照明は行わない	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-													
1.3.1 維持管理に配慮した設計	9.0		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	9.0		-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	5.0		-	-	3.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		-	1.0	2.0	3.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-

LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	5.0		1.0	-	-	-	3.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能		窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -													
3.1.1 昼光率		昼光率 1.4%													
4.2.2 自然換気性能		自然換気有効開口面積率 0.1%													
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収納性		執務スペース 0.0㎡/人 病床 17.2㎡/床 シングル 0.0㎡ ツイン 0.0㎡													
1.1.2 高度情報通信設備対応		コンセント容量 0.0 VA/㎡													
1.2.1 広さ感・景観		天井高 0 m													
1.2.2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%													
2.2.1 躯体材料の耐用年数		想定耐用年数 0 年													
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		想定必要間隔 25 年													
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		想定必要間隔 20 年													
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		想定必要間隔 0 年													
3.1.1 階高のゆとり		階高 0 m													
3.1.2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率 19.0%													
3.2 荷重のゆとり		床荷重 - N/m2													
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出		外構緑化指数 79% 建物緑化指数 0%													
3.2 敷地内温熱環境の向上		空地率 43% 水平投影面積率 20% 地表面対策面積率 43% 舗装面積率 27%													
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI/BPI _m 0.74 断熱等性能等級 対象外 相当													
2 自然エネルギー利用		自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0% 太陽光 0.0kW 太陽熱等 0.0kW 蓄電池 0.0kW													
3 設備システムの高効率化 非住宅部分		BEI/BEI _m 再エネ有 0.84 無 0.84 オフサイト再エネ有 0.84 -													
集合住宅の評価		一次エネ削減率 再エネ有 無 仕様基準で評価する -													
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無		雨水利用率 0.0%													
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		特定調達品目 再生クラッシュラン エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -													
2.5 持続可能な森林から産出された木材		使用比率 0.0%													
3.2.1 消火剤		オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)													
3.2.2 発泡剤(断熱材等)		オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)													
3.2.3 冷媒		オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)													
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善		見付面積比 113% 隣棟間隔指標Rw 0.25													
		地表面対策面積率 71.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0!													
		見付面積Sb 1.036㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 83.94 m 基準高さHb 10.83 m													
		緑地 388㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡													